

西島千博 (スターダンサーズバレエ団) Nishijima Kazuhiro



3歳よりバレエを始める。'90年渡仏。'91年フランス・カルボ賞国際バレエコンクール男性シニア第1位受賞。ヨーロッパ、アメリカの公演に出演。'94年スターダンサーズバレエ団入団。プリンシパルとして活躍する他、上海バレエ団、新国立劇場バレエ団、日本バレエ協会等の公演に客演。また、ダンスアクトシリーズ「ジャン・コクトー」「スターダスト・イン・上海」主演、「Super Dance Battle」、寺山修司生誕70周年記念公演「血の起源」、音楽劇「兵士の物語」やTVドラマ「池袋ウエストゲートパーク」「流転の王妃・最後の皇帝」出演。第17回東京国際映画祭コンペティション部門出品作品来年1月公開予定の映画「るにん」に主演する等、様々なフィールドでの活躍が注目されている。



ゲストダンサー：西島鉱治 & 向高明日美 (全日本プロダンスファイリスト)

'98年プロ転向、'04年東部日本ダンス選手権優勝。同年日本インターナショナルダンス選手権大会6位に入り、九州インターナショナルダンス選手権、ロンドンインターナショナルダンス選手権大会プロライジングスターと続けての優勝を飾る。同には東京都知事杯、ESPEN CUP IN 台湾 ライジングスター部門優勝など国内外において主たる大会で活躍。驚異的な躍進を遂げる。

選手権だけでなく、コンテンポラリー・ジャズ・バレエダンサーなど様々な分野でのトップアーティストの共演など、技術、ビジュアル、人気と三拍子揃った、今最も注目され、期待されている若手ペアである。クワバラダンススクール所属。

京谷弘司 Cuarteto Kyoutani Kouji

アストル・ピアソラから「近い将来ピアソラのライバルとなるコウジへ!」とのメッセージを受けた日本が誇るバンドネオン奏者。

弱冠20歳で早川真平とオルケスタ・ティピカ東京の第一バンドネオン奏者となり、常に日本のタンゴシーンの第一線で活躍。'85年文化交流の一環として中国に招かれ北京、天津での公演が大好評を博す。'02年グラナダ・タンゴフェスティバル出演、総立ちの大喝采を受ける。'03年ブエノスアイレスにてオリジナル曲を含む全曲をアルゼンチンミュージシャンと共に録音しCDを作成。オーケストラとの演奏活動も盛んで、日本フィルハーモニーの演奏会でピアソラの「タンゴの歴史」シリーズを本邦初演奏し話題となる。コンサート活動の他に、TV出演、作曲、編曲にも意欲を燃やし、タンゴに対する真摯な姿勢はその音楽性にも現れ、聴いた人の心に深く感銘を残している。



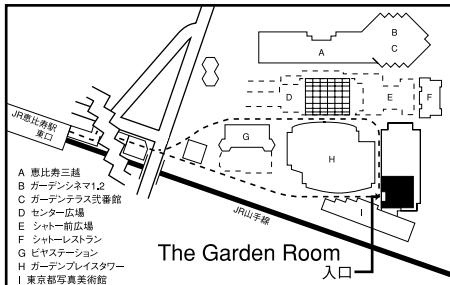
ゲストヴォーカル：大西亜里



国立音楽大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻卒業。'97年女性ユニット「アンティガ」で文化放送主催「ザ・スーパー・オーディション “プロになっちゃえ”」2000組からグランプリ受賞。'99年アルバム「恋愛小説」でメジャーデビュー。今秋、アルバム「ARIMAGIC」でソロデビュー。ピアノ弾き語りライブ、ジャズハウス出演などソロ活動中心に最近はハワイアンバンド「アロハ・シスターズ」のメンバーとしてKONISHIKIとのジョイント、他アーティストへの楽曲提供にも意欲的に取り組む。

振付：ケンジ中尾／原田薰／西島千博／西島鉱治

企画／構成演出／プロデュース：まあく まさこ



恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンルーム

〒153-0062 目黒区三田 1-13-2
TEL. 03-5424-1203 (当日)

●特別協賛：KO SÉ / YEBISU GARDEN PLACE

●協力：★ SAPPORO / Asaoka Rose / 株式会社フライング・ボックス

主催・制作: MARK&I



筑紫哲也 (ジャーナリスト)

ガーデンホールでの再演も大盛況だったvol.V。前回のモデルナを体験してしまった観客(わたしも含めて)は、今回のvol.VIへの期待は並大抵のものではないだろう。それに、vol.VIにしてよいよ登場となった京谷弘司さん、あのピアソラからライバルと目されたほどのバンドネオン奏者である。そして西島千博くんは華も実力もあるバレエダンサー。本業の舞台以外でも稀有な活躍ぶりだ。そんな彼の軽やかなかん越境精神は、まさにこのモデルナという企画のコンセプトでもある。今回西島くんが、これまた毎回話題になるモデルナの“尋常でない”ステージ創りの中で、どんな大胆な越境をしてくるのか。西島鉱治くん・向高明日美さんペアとの兄弟競演、ジャズシンガー大西亜里さんのタンゴ初挑戦も見逃せない。

観客の皆さんと私の期待はきっと裏切られないだろう。

